

第3回岩手県地域公共交通活性化協議会県北地域部会 議事要旨

1 日時

平成30年12月17日（月）10:00～12:00

2 場所

二戸市（二戸地区合同庁舎 2階2A・2B会議室）

3 主な議事内容

- (1) 岩手県地域公共交通網形成計画の素案について
- (2) パブリックコメントについて

4 主なご意見等

- (1) 岩手県地域公共交通網形成計画の素案について
 - ・ 資料1の「課題に対応した方向性」について、路線の代替交通の確保とあるが、現時点で県としての方策はあるのか。
⇒（事務局）維持が難しい路線については、デマンド交通等の地域内公共交通への転換を図る場合もある。単純に路線廃止をするのではなく、代替交通まで含めたうえで見直しを図ることが必要と考えている。
 - ・ 指標に「主要な接続拠点の改善件数」とあるが、乗り継ぎ環境整備の具体的なイメージは。
⇒（事務局）乗り継ぎ環境整備の具体例として、商業施設にバスの待合環境を設け、接続機能を向上させた北上市の「まちなかバスターミナル」の取り組み等がある。また、円滑な乗り継ぎのためにダイヤ調整も実施する必要があると考えている。
 - ・ 計画の目標について、それぞれの目標の根拠を明記してもいいのではないか。
事業の実施年度について、具体的な取組計画を設定し、そのスケジュールに基づき評価してもいいのではないかと思う。
事業の実施には財源の確保が必要となるが、計画倒れとならないように、予算の確保に努めて欲しい。
ICカードやバスロケーションシステムについては「検討」と表現されて

いる。予算の裏付けの関係もあるが、事業者や利用者が望んでいることでもあるので、もう一步踏み込んだ表現としてもいいのではないか。

⇒(事務局)事業については、毎年度少しずつ実施する事業でまとめており、ハード整備のように明確に実施年度を設定することは難しく、このような表現となっている。

ICカードやバスロケーションシステムについては、今後の動向が不明確な部分が多いことから、「検討」という表現とした。

数値指標の一部は次期総合計画の政策プランや観光の計画等と合わせているため、指標の根拠はそれらの考え方と同様となる。他の計画に基づかない指標については、もう少し理由付けを行っていきたい。

- ・ 路線バスとスクールバスの重複による見直しは県の網形成計画に含まれる訳ではなく、市町村側で取り組んでいくという認識でよいか。
⇒(事務局)重複が課題になっているのであれば、今後の方向性やどのような形での検討を要するかを計画に記載する必要があると考えている。
- ・ 当市でも網形成計画の策定を進めているが、計画策定は地域公共交通をはじめとした様々な整理する良い機会だと感じている。

(2) パブリックコメントについて

- ・ 最終案によってパブリックコメントを実施し、意見を踏まえ微修正を行い、法定協議会で了承する流れが一番理想だと思う。

パブリックコメント中、若しくは後に多くの意見が市町村から出たときに、地域別部会を経ずに法定協議会を行うこととしてよいのか。

⇒(事務局)市町村に意見照会するタイミングについてははまだ固まっていないことから、内部でもう少し検討を行いたい。